


















# 入院診療計画書

やわたメディカルセンター

様 入院日: 年 月 日 病棟: 号室  
 病名・症状: 大腿骨頸部骨折 人工骨頭挿入術  
 担当看護師: 担当薬剤師: 担当栄養士:

西暦 年 月 日  
 担当医: 西暦 年 月 日  
 患者様・ご家族様サイン

期間	No	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	
経過		手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後 1 日	術後 2 日	術後 3~6 日	術後 7 日	術後 2 週目	術後 3 週目	術後 4 週目 ~ 退院	退院(術後6週間後)
達成目標	P	●患者及び家族が手術の目的、方法、合併症について理解できる。 ●ベッドから転落しない。	●手術に対する不安が最小限である。	●麻酔から覚醒する。 ●安静臥床ができています。 ●苦痛を訴えることができる。 ●患部に異常が見られない。 ●深部静脈血栓を起こさない。	●痛みのコントロールができる。 ●深部静脈血栓を起こさない。 ●患部に異常が見られない。 ●転倒しない。	●痛みのコントロールができる。 ●深部静脈血栓を起こさない。 ●患部に異常が見られない。 ●転倒しない。	●痛みのコントロールができる。 ●深部静脈血栓を起こさない。 ●患部に異常が見られない。 ●転倒しない。	●痛みのコントロールができる。 ●深部静脈血栓を起こさない。 ●患部に異常が見られない。 ●転倒しない。	●日常生活動作が安定。 ●外出・外泊ができる。 ●退院できる環境が整う。(自宅・施設・サービスなど) ●転倒しない。	●受傷前の状態に近づき、退院できる。 ●退院後のイメージを立てられる。 ●退院先での生活動作の確認ができる。 ●補助具の準備ができる。	●退院後の注意事項を理解し退院できる。 ●退院後の自主運動を習慣化している。	●退院(術後6週間後)
退院基準	P										●【退院の基準】 ・補助具歩行50mが可能 ・排泄動作が可能、入浴が介助のもと可能になれば退院となり、介護保険サービス等でのリハビリテーションへ移行します。	●退院時間は、9:30までにお願しております。
活動・安静	P	・ベッド上で安静が必要です。  ・骨折した方の足は、枕を使って高くします。		・手術室から病室に戻った後、翌朝までベッド上で安静が必要です。  ・手術をした方の足は、枕を使って高くします。	・ベッドから降りる練習をし、車椅子に座ることができます。 				●外出・外泊許可。 ・外出・外泊を行い、退院後の生活環境に慣れています。 		●介護保険サービス等でのリハビリテーションへ移行します。 	
栄養(食事)・排泄・清潔	P	・手術前日までは食事、水分はいつも通りです。 ●手術前日の21時から食事は食べられません。アメ、ガムも食べられません。水、お茶、スポーツドリンクのみ飲めます。  ・必要に応じて、尿の管が入ります。 ●特別な栄養管理の必要性【有・無】	●手術が午前の場合は6時まで、午後の場合は8時まで水分を摂ることができます。以降は食べたり飲んだりできません。 ・内服薬がある場合は6時に少量の水で内服してください。 ・必要に応じて尿の管が入ります。 ・必要に応じて身体を拭いたり洗髪を行います。	・朝から食事を食べることができます。 ・痛みやリハビリの状況をみながら尿の管を抜きます。 ・トイレカポータルトイレにて排泄します。 ・蒸しタオルで身体を拭き、更衣をお手伝いします。 ・傷口がフィルムになればシャワー浴ができます。 				・1週間で4回の回復期リハビリ病棟へ移ります。 ・抜糸後、創部に異常がなければ入浴ができます。 ・状態に合わせて、機械浴、小浴室の設定をします。 		●自宅での入浴が可能となります。		
治療・処置・検査・説明・指導	P	★手術予定時刻 時頃 ・口の周りの髭は全て剃ってください。 ・深部静脈血栓の予防のため、下肢の血流を良くする足をマッサージする機械を装着します。	・上の下着は着用せずに手術衣に着替えます。  ・手術前から、点滴をおこないます。 【▼注意！】 ・直前までに、指輪、入歯、時計等の装飾品や眼鏡、ヘアサージする機械を装着します。 ・手術時間は平均30分~1時間です。 ・部屋にもどる時間は1時間半から2時間半程です。	・病室時より酸素マスク・心電図モニターをつけます。主治医の指示に従います。  ・ベッド上でも足首、足指を動かすようにしましょう。痛みが強い時は鎮痛剤を使用することができますので、我慢せずにお伝え下さい。 ・採血があります。	・創部のガーゼを交換します。  ・ベッド上でも足首、足指を動かすようにしましょう。痛みが強い時は鎮痛剤を使用することができますので、我慢せずにお伝え下さい。 ・採血があります。		・手術後3日に傷口の消毒を行います。  ・抜糸します。埋没縫合の場合は、抜糸はありません。フィルムを除去して、傷口の状態を確認します。  ・採血があります。	・手術した部位のレントゲン撮影、採血があります。  ・回復期病棟転入時に再度、面談させていただきます。 ・介護保険の有無や期限・家屋状況・どの程度介護の協力が得られるか等		・手術した部位のレントゲン撮影、採血があります。  ●補助具歩行50mが可能、排泄動作が可能、入浴が介助のもと可能になれば退院日を決定します。 ●退院後の生活についてご説明します。 ●再診日は退院日が決定したら医師より指示がでます。 		
内服・注射	P				・深部静脈血栓予防のため、夕食後から内服が始まります。 							
作業療法	P	・生活状況の情報収集を行います。 ・必要に応じて認知面の評価を行ないます。			・痛みに応じて起き上がりや車椅子への乗り移りの練習を行ないます。 ・認知面の低下予防にかかわっていきます。			・排泄以外の日常生活動作の練習を行ないます。	・退院後の生活に備えて日常生活動作の練習を行ないます。 ・受傷前の状態に戻る事が難しい場合もあるため、必要に応じて家庭訪問を行い、退院の準備を行います。		・自宅の環境や生活上のアドバイスを行います。	
理学療法	P	・血栓予防のための足首の運動を説明します。			・医師の許可があれば、手術した足に体重をかけることができます。 ・術後、骨折部が不安定な場合は4週間足に体重をかけられない場合があります。	・受傷前の状態に合わせたリハビリを行います。(歩行練習や、トイレの練習など)					●介護保険サービス等でのリハビリテーションへ移行します。 ・家庭でできる自主運動を紹介します。	